

深川市地域公共交通網形成計画の概要

計画の策定にあたって

【趣旨】

マイカーの普及や人口減少・少子高齢化などにより、公共交通の利用者が減少し、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の低下が生じてきています。

これまでの公共交通は、民間事業者を中心に路線網の整備などがなされてきましたが、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正によりこの枠組みが見直され、今後は、地方公共団体が中心となってまちづくりと連携し、面的な交通ネットワークを再構築するとしています。

こうした法改正の趣旨を十分踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築を目指し、法律に基づく計画として策定するものです。

【計画期間】

平成28年度から平成32年度まで（5年間）

基本方針

第五次深川市総合計画等のまちづくりの計画との一体性を確保し、現況と課題を踏まえ、「まちなか」をはじめとする深川市街地の公共交通の利便性の向上を図るとともに「まちなか」と「拠点」を結ぶ公共交通網の形成を基本として、各種の施策を推進することとし、基本方針を次のとおり定めます。

「地域の暮らしを支える持続可能な公共交通網を形成する」

計画の目標

【目標1】 持続可能な公共交通網を形成する

今年度のアンケート結果や試験運行結果を踏まえ、市民の市内移動の足を確保するため、市内の主要施設をネットワークするバスの運行方策について、さらなる実証実験を実施し、さまざまな検証を行ったうえで路線網の再編を図ります。

また、周辺市町村との交通ネットワーク網についても、関係市町をはじめ、国や道、交通事業者と連携しながら路線維持のための協議を進めます。

これらにより、市民の移動手段を確保するとともに、公共交通の利用者数を維持改善して市の負担額増加を抑制するなど、持続可能な公共交通網を形成します。

＜目標達成のための施策・事業＞

- ・移動ニーズに対応した市内路線バスの路線網の再編
- ・広域で運行する公共交通の維持確保に向けた広域的な協議の場づくり
- ・収支率・乗車密度を踏まえた路線網の検討

【目標2】 公共交通空白地域における移動手段を確保する

路線バスや鉄道がない公共交通空白地域の日常生活の移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシー等の導入などについて、公共交通空白地域の住民との協議や実証実験により移動ニーズや移動ボリュームを把握するなど、移動手段の確保に向けた検討を進めます。

＜目標達成のための施策・事業＞

- ・公共交通空白地域におけるデマンド型乗合タクシー等の導入検討

【目標3】 公共交通の利用を促進し、活性化させる

公共交通の利用促進に寄与するため、高齢者や遠距離通学生に対して交通費を助成します。

現在各運行事業者が発信している運行ダイヤや路線図、料金、JR、タクシーなどの情報の一元化を図るとともに、買物、通院など利用目的に応じた情報を市のホームページやパンフレットの作成などを通じて発信します。あわせて、現状の公共交通の利用のしやすさやわかりやすさを検証し、バスダイヤ等の見直しを検討するとともに、普段バスをあまり利用しない方を対象としたバス体験乗車会の実施など、利用促進・活性化に向けた取り組みを展開します。

JR深川駅のバリアフリー化や拠点となるバス待合所のあり方についても、公共交通の利用促進策として検討を進めます。

＜目標達成のための施策・事業＞

- ・高齢者バス利用料金助成事業による利用促進
- ・遠距離通学生に対する交通費負担の軽減
- ・深川市版公共交通ガイドの作成等
- ・バス体験乗車会の実施